

# 虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン  
「にじのたいじゅ」

2025年  
3月号  
NO.316

協同組合という  
虹のもと、  
大都市に深く  
根を張りそびえる  
大樹のような  
JAで  
ありたい——

今月の特集

女性部本部役員×常勤役員  
懇談会&グループディスカッション  
「女性の視点」を事業につなぐ



札幌黄の播種作業  
Photo by SOGA Takahiro

# 家族への感謝と父への敬意 最大の師、父と共に歩む

なかむら ゆきお  
白石地区 中村 幸男さん



「自分の中で、父親以上の存在はいないですね」そう真つすぐな眼差しで話してくれた中村幸男さん。日々、父と対話を重ね受け継がれていく想いと技術がそこにあった。

## 泥炭地ならではの 強みを活かした栽培

「米が豊かに実る里」という願いを込めて、名付けられた札幌市白石区「米里」。この東に位置する「東米里」に中村農園がある。今年の札幌は記録的な雪不足と言われていたが、取材に訪れた2月下旬の圃場にはいつもの銀世界が広がっていた。

中村農園は、道央自動車道を挟んだ両側に玉葱畑がある。札幌伝統野菜である札幌黄をはじめSN3A・北もみじ2000の栽培など、330aの畑で約百万株の玉葱を作付けしている。

この地域は、水が豊かであったことから、明治中期から稲作が行なわれ、中村農園では昭和30年代中頃から玉葱の生産を始めた。泥炭地で保水性が高く、乾燥時の水分保持力が一般土壌よりも高い。その保水力は裏返すと水はけの悪さでもあり、かつては水害に悩まされてきた。父親の邦男さんをはじめ先人達

が長い年月をかけて河川や排水の整備を根気強く進め、その地まぬ努力が実を結び、今では玉葱栽培に適した地と言われるま

## 最大の師、 父と共に歩む

幸男さんは、中村農園の5代目。2011年3月に東日本大震災が起こり、家族や食をはじめ生きることに対しての「あたりまえ」の概念が変わった。数か月後には一緒に農業をしたいと決断しサラリーマンを辞めた。親元就農に舵を切ったのは、大きなチャレンジだったが、それを上回る強い思いがあった。幸男さんは、高校時代の3年間を寮で過ごした経験がある。

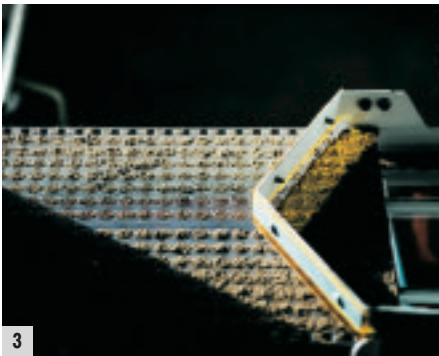
「親と離れた期間があるから、今は一緒に居たいと思う気持ちの人が人一倍強いのかもね。寮に親が来て帰っていくのはすごく寂しかった記憶がありますね」



1



2



3



4



5

1. 邦男さんは18歳から就農して農業一筋 2. 左から、弟の修治さん、母の礼子さん、邦男さん、幸男さん、絵梨佳さん 3. ポットに種を入れ約2週間後に発芽。この日は、約2,200枚のポットを約6時間で作り上げた 4. 播種作業は一袋19kgもの培土を165袋も機械に入れる重労働 5. 播種後の苗箱を自動で積み上げるポット積上機

幼い頃から繁忙期に手伝っていた経験はあるものの父に学ぶ日々。14年経った今でもそれは変わらない。作業中や家でも折りに触れて父に相談する。機械のことや施肥設計など、アドバイスを聞いて作業を組み立てるのだ。

「頼りになる存在がすぐ傍に居て、常に相談できるのは本当に心強いし有難い。後にも先にも父親以上の存在はいないね。少しでも長く一緒に農業を続けていきたいね」

### 14年前の父の想いを繋ぐ

幸男さんに生産のこだわりを聞くと、「こだわりの作り方は：難しいですね」。思案する幸男さんの傍で、言葉を引き継いだのは妻の絵梨佳さん。「毎年同じ手順でコツコツと、基本的な作業に手間をかける。お義父さんの代から作り方を変えず、そこは妥協しない。その一つ一つが良質な玉葱の生産に影響しているのだと、私は感じています」そう力強く話してくれた。

取材当日は、玉葱生産のスタートとも言える播種作業が行

なわれていた。黙々と、がむしゃらに作業する幸男さん。一つ一つの作業を実直にこなしながら、やさしい表情で幸男さんにアドバイスをする邦男さん。作業を行ないながら、家族揃って営む農業の話を嬉しそうに語る邦男さんの表情が印象的だった。

幸男さんに将来の展望を尋ねると、「作るのが難しいと言われる札幌黄だけど、これからも作り続けたい。親と一緒に農業をする中で、今ある幸せを噛み締めながら、受け継いだものを残していきたい。僕も父同様、守りには入りたくありませんね」という答えが返ってきた。

「守りには入りたくない」今から14年前、本誌の取材で邦男さんを訪れた際に話してくれた言葉が、時を経て脈々と息子に受け継がれていた。

常に父から学び続け、共に歩みながら作業を行なう父と息子との間に流れる特別な空気感。いっつか最大の師である父の背中を追い越す時には、新たな扉が開けているに違いない。



特集

女性部本部役員×常勤役員  
懇談会&グループディスカッション

# 「女性の視点」 を 事業につなぐ

## 「懇談会

2月7日(金)、本店役員会議室にて、女性部本部役員と常勤役員との懇談会が行なわれ、本部役員21名と常勤役員5名、オブザーバーとして広域女性理事2名の合計28名が参加しました。

菅原利恵女性部長の、「女性部活動において、日頃から疑問に思っていることを常勤役

## 「グループディスカッション

大会議室に場所を移して行なわれたグループディスカッションは、3班に分かれてグループワークを実施。「JAさつぽろの農業の持つ価値を発信するためには」というテーマで各々が意見を出していきました。

テーマだけだと意見を出しにくいかも?という事で、小テーマを4つ設定。「ブランディング先(こんな企業やお店に協力を仰いだら?)」、「販売先(こんな店舗や場所で販売したら?)」、「マスメディア(こういう雑誌や番組、タレントなどにPRして欲しい!)」、「そして「青年部とできること」。

女性ならではの視点で出された数々のアイデアを、ご紹介します。

本部役員の方々には、たくさんアイデアを自由に出してもらうために、「現実的、実現可能かどうかは別として、思いつくままに書いてください!」とお話しています。

員の皆さんにお聞きできる貴重な機会です。忌憚のない意見をお願いします」との挨拶から懇談会がスタート。女性部からは、女性部活動の拡充や部員減少の問題解消を鑑み、さらに女性部活動に支援いただきたいとの意見が出されました。





## グループディスカッションテーマ

# 「JAさっぽろの農業の持つ価値を発信するためには」

## ブランディング先

- 食堂や焼き肉屋さんでJAさっぽろ産を使ってもらい、新鮮さを伝えたい
- 居酒屋でJAさっぽろ産を使用
- 日本語学校の技能実習生と連携
- JICA(国際協力機構)と連携
- 道庁の食堂でJAさっぽろ産を使用
- 「千秋庵」や「きのとや」と連携。JAさっぽろ産を使用した生ノースマンは？
- キューピー3分クッキングでJAさっぽろ産を使用
- スポーツと連携(レバンガやコンサドーレ、カーリングチームやバレーボールチームなど)
- 洋菓子協会やパン協会などに売り込み
- 生の玉葱をトッピングする「八王子ラーメン」。協賛してくれるラーメン店を探し、JAさっぽろ産玉葱の使用をきっかけに、他の野菜も使用してもらう
- 漁協と連携
- 新規開業している星付きホテルの中には、道産食材使用を売りにしているところがある。これにJAさっぽろも参入！
- 老人ホームでJAさっぽろ産を使用した漬物づくり
- 大手ではなく、個人の飲食店で使ってもらう

## 販売先

- 街頭でのPR(クイズを行なうなど…)
- 「女性の集い」で、規格外品など出荷できないものを販売
- 老人ホームでの販売
- 町内会やこども会で詰め放題企画の実施(ジャガイモ・ペコ玉葱・ミニトマト)
- 地区別懇談会の会場で野菜や加工品を宣伝販売する
- 准組合員3万名へ、准組合員価格、特典付き商品の販売(准組合員広報誌の活用)
- 冬期も札幌市内の直売所をOPEN
- 人通りの多い中央支店前で週1~月2程度の野菜市
- JR駅や温泉施設での販売
- ラッキー西野店での販売
- スポーツの試合会場での販売(レバンガやコンサドーレなど)

昼食会の様子は  
次ページへ！



## マスメディア

- 森結有花アナウンサー
- 下國伸シェフ  
(子どもの苦手な野菜を美味しく調理してもらう)
- オフィスキュー(チームナックスなど)
- 藤井惣太棋士の勝負メシ
- TV「青空レストラン」/「タカトシランド」(生産者巡り)/「あぐり王国北海道」/「1×8いこうよ」(YOYO's)/「どさんこワイド北海道」(JAさっぽろ産を使用したレシピ紹介)
- 雑誌「HO(ホ)」/「poroco」
- フリーペーパー「ふりっぱー」に掲載
- FMアップルの「Yukako Love Life」

## 青年部とできること

### 青年部×女性部

- まずは「飲みニケーション」から
- 「みんなの集い」の開催
- 規格外野菜を使った干し野菜販売
- 青年部員の奥様も含めバーベキュー
- 「女性の集い」で青年部の加工品を販売
- さとらんど玉葱フェアで、焼き野菜の販売(トウモロコシなど)
- 女性部員が行なう、青年部員圃場での農業支援活動

### 青年部

- 「SAPPORO PRIDE」のシールを貼った商品を生協に置いてもらう

## その他

- 中央卸売市場内でイベント
- 少量多品目の良さを、もっとJAにPRしてもらいたい
- コラボしたい！というお店や企業からのオファーを受け付ける、JAの窓口をはっきりさせる
- 若い世代の准組合員との接点を増やす
- 新米イベントの開催(ごはんに合うおかずを併せて紹介するようなイベント)
- 食べて応援！「農家さんの食卓拝見」
- 『とれのさと』の調理室で、子どもや男性など料理に馴染みが薄い人に向けた料理教室の開催
- 野菜を販売するときは、その食べ方に加え、栄養素なども併せて紹介する

この中に、今後の事業に繋がる  
「案」があるかも？

丸岡専務  
お手製!

## 札幌大球と古川ポークを使用した餃子が 女性部本部役員に振舞われました

常勤役員との懇談会、グループディスカッションの後は、皆さん揃っての昼食タイム。今年は特別に、丸岡専務が女性部本部役員の皆さんにお手製の餃子を振舞いました。

### 専務からの提案で

「女性部本部役員と常勤役員との懇談会、昼食は決まっているのかい?」そんな問いかけが丸岡専務から発せられたのが12月中旬のこと。例年であればお弁当を用意するところですが、今年は専務が腕を振るって、餃子を作ってくれろと言うのです。「料理を振舞うことで、女性部の皆さんに日頃の感謝を伝えられるかなと思って」。

女性部三役にこの話を伝えたところ、「えー専務が作ってくれるの?」「それは楽しみだね」。こうしてこの日の昼食のメインメニューが、専務お手製の餃子に決定しました。

### 丸岡餃子製作所

札幌伝統野菜のひとつでもある札幌大球は、とても希少です。生産者である豊平支部・副支部長の吉田朝

子さんに相談したところ、ご自宅分として保管しているものの中から、快くご提供いただけることになりました。

札幌大球1個と古川ポークを専務に託し、迎えた当日。丸岡家の冷凍庫で保存されていた180個の餃子が納品されました。

餃子製作にあたり専務が最初に取っ掛かったのは、自宅の冷凍庫を空にすること。作った餃子の保存スペースを確保すべく、数日間、保存食用の冷凍食品を食べ続けたそうです。

そして土日の2日間にわたって餃子を製作。奥様もキャベツを刻むなど、進んで手伝ってくれたそうです。日頃より台所によく立つという専務ですが、この量の餃子を作るの

180個の餃子を作ってきたよ!



は初めてのことに。

「包むのは全然苦にならないんだけど、いつも家で作るのと分量が全く違うから、味付けの加減がよくわからなくてさ。今回は隠し味として札幌黄玉葱スープの粉末も入れてみたから、余計にね(笑)」

実は学生時代に3年間、中華料理店でアルバイトをしており、数日に一度、「餃子を包む日」というのがあったのだとか。均一に包まれた綺麗な餃子は、その時の経験によるものでした。

### 美味しいのはもちろん…

グループディスカッション中、会議室の後方では、専務自ら3台のホットプレートを使って餃子を調理。食欲をそそる良い匂いが会議室全体に広がります。

一人5個ずつの餃子と、札幌黄玉葱スープ、おにぎり(札幌大長南蛮



丸岡専務自ら焼きまで担当!

みそ味と札幌黄玉葱スープ粉末使用(ピラフ風)、そして4名の部員の皆さんに持参いただいたお漬物の数々がテーブルに並び、賑やかな昼食タイムとなりました。

「美味しい!」の声はもちろんのこと、こうして専務が自ら腕を振るってくれたことが嬉しいとの声があちらこちらのテーブルから聞こえてきました。

専務からは、「皆さんが作った餃子の方が美味しいであろうことは承知のうえで、このような機会を設けました。皆さんに喜んで食べてもらえたようでホッとしています。今回は吉田さんの札幌大球と古川ポークを使っていますが、これからも地元のもの積極的に消費し、その魅力を伝えていってください」とのご挨拶がありました。

専務が作った餃子は食べられるとは思っていませんでした。すごく嬉しいです!

おかわりしたいくらい美味しかったです!



12/10(火)

### 献血促進活動 献血者に札幌産玉葱4玉 ベジチェックも実施

JAさっぽろが社会貢献活動のひとつとして取り組んでいる献血促進活動。札幌市西区の北海道赤十字血液センターで、献血者に札幌産玉葱4玉をプレゼントする企画を実施しました。

この日、同センターに会場し、献血に協力したのは64人。経営企画部職員が手渡した玉葱を、笑顔で受け取りました。またこの企画と同時に、カゴメ株式会社の協力で、野菜の摂取量を測ることができるベジチェックも実施。野菜摂取レベル7〜8で1日の目標摂取量をクリアするところ、多くの方が3〜4。朝食に1品野菜を増やすなど、意識的に野菜を摂ることをお勧めしました。

JAさっぽろでは今後も、JAさっぽろらしい取り組みで、献血促進活動を続けてまいります。



献血者の皆さんは、思いがけない玉葱のプレゼントに、驚きながらも喜んでいただけました様子。札幌産玉葱を食べ、血液と血管を健やかに保ってください！

1/20(月)

### 食育活動(みなみの杜高等支援学校) 食育授業の集大成！ チカホで生徒がプリン販売

JAさっぽろが小林牧場やホクレンなどと共に取り組んでいる、みなみの杜高等支援学校での食育活動。生徒が授業の中で完成させた「どさんこプリン極」を、札幌駅前通地下歩行空間で販売しました。

このプリンには、小林牧場が牛乳を、ホクレンが「贅コクたまご」を提供し、札幌グランドホテルの伊藤博之総料理長が作り方を伝授したもの。教わったレシピに生徒がアレンジを加え、理想の味や硬さに仕上げました。

販売開始前から20名ほどが列を作り、用意した100個のプリンは50分ほどで完売。同校教師の高田司志さんは

「JAが繋いでくれた縁で、生徒が望む創造性のある授業を行なえました」と話しました。



販売当日には、厚別地区組合員・小林牧場の小林智行さん(写真上段・右から2番目)も駆けつけ、授業の集大成となる販売の様子を見守りました。

1/23(水)

### 女性部 厚別支部(茶道サークル) おもてなしを感じる空間 恒例の初釜、厳かに

女性部厚別支部茶道サークル(栗井幸子会長)では、会員5名、来賓5名、役職員7名が参加し、恒例の初釜を支店3階の談話スペースで執り行ないました。

会員の皆さんにより、初釜の手順に沿って茶会が進行。お重に入った華やかなお弁当や花びら餅をいただいた後、抹茶をふんだんに使用したお濃茶と、馴染み深いお薄茶を堪能しました。お菓子やお茶を運ぶ所作のひとつひとつに心配りを感じ、おもてなしの心が体現されたような空間でした。

第2・第4木曜日に、活動を続けている同会。栗井会長は日頃より、「どなたでも気軽に茶を飲みに来て欲しい。一杯のお茶が新たな出会いとなり、JA活動が活発

になれば嬉しい」と話しています。興味のある方はぜひ、お立ち寄りください。  
(須澤特派員)



軽部組合長や丸岡専務のほか、厚別地区の木内理事や殿山監事、女性部の小林祐美副支部長などが来賓として招かれました。



秋元克広市長から表彰状と記念品を受け取る横田さん。「飼料・燃料の高騰が続いていますが、課題のひとつとして乗り越えたい。地域のために、できる範囲で耕作放棄地をなくしていきたいです」と話していました。

1/27(月)

### 札幌市優良農業者等表彰 市の酪農発展に尽力 篠路地区・横田巖さん受賞

模範となる業績を上げた札幌市内の農業者を対象とする札幌市優良農業者等表彰に、篠路地区組合員の横田巖さんが選ばれ、札幌市役所で表彰を受けました。

横田さんは酪農家の4代目。45年にわたり酪農に携わり、地域農業のリーダー的存在として市の酪農発展に尽力してきました。サツラク農業協同組合理事のほか、石狩乳牛検定協会会長、北海道ホルスタイン農協理事などを歴任し、近年は乳牛の育成が専門。離農者の牧草地や近郊の耕作放棄地を譲り受け、牧草地の拡大に取り組んでいる点などが評価されました。

1/28(火)

### 女性部 石狩支部 幸運を呼ぶ装飾品！ サンキャッチャーを作る

女性部石狩支部(新居久美子支部長)では、石狩八幡支店会議室でサンキャッチャー作りの講習会を実施し、部員17名と職員1名が参加しました。

サンキャッチャーは、ワイヤーなどにガラスやビーズを通して作る装飾品。窓辺に吊るすと太陽光を集め、部屋の中に光の乱舞を作り出します。講師を務めたのは、篠路支部の嶋知子支部長。本部分行事等を通じて新居支部長と親交があり、講師をお願いしました。部員の皆さんは、おしゃべりを楽しみながら好きな色のビーズを思い思いに組み合わせ、長・短2本の作品を制作。青空が広がる窓辺にかざしてみるととても綺麗で、また作りたい、という声も聞かれました。

作品の制作を通し、部員同士の交流を更に深めた一日でした。  
(川浪特派員)



太陽光を集め虹色の光を放つことから、「幸運を呼ぶ」と言われているサンキャッチャー。皆様のご自宅の窓辺で輝きを放ち、たくさんの幸運を集めてくれますように！



2/6(木)

### 手稲支店 優良安全運転管理事業所表彰 交通事故のない職場づくり 取り組み継続を誓う

手稲支店(室松雄祐統括支店長)は、手稲地区安全運転管理者協会より、令和6年度の優良安全運転管理事業所として表彰を受けました。

この表彰は交通安全に真剣に取り組み、交通事故のない職場づくりに尽力した事業所に対して行なわれるもの。日頃よりアルコール検知器による確認・記録の徹底、同協会発行の交通事故状況や防止啓発が掲載された便りを全職員へ回覧するなど、職員一人となり交通安全に努める意識を高めてきたことが評価されました。

室松統括支店長は、「悪質な自動車事故が社会問題となり、厳罰化が進んでいます。交通事故は被害者・加害者の人生は元より、その勤務先である事業所の信用にも関わります。今後も職員一同、交通事故防止に努めていきます」と話しました。



手稲警察署で行なわれた表彰式で、同協会の佐藤誠会長から表彰状と記念品を受け取る室松統括支店長。





役員 OB の皆さん



職員 OB の皆さん

2/7(金)

### 札幌市農協役員OB会・職員OB会 合同新年会 49名が一堂に会する 近況を報告し合いながら

札幌市農協役員OB会(松下信一会長)と職員OB会(清水和夫会長)では、ホテルモントレエーデルホフ札幌にて合同新年会を開催、会員36名と役員13名が参加しました。各テーブルでは、これまでJAさっぽろを支えてきた役員OBと現役職員とが、近況を報告し合いながら話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしました。



役員OBと職員OBが一堂に会するのは年に一度。懐かしい顔ぶれに、笑い声溢れる宴席でした。



個別に相談いただけるよう、4つのブースを設営。共済部長以下4名が対応しました。相談内容に応じ、NISAや貯金で備える方法と共済との違いなどを丁寧に説明。より詳細の説明を求めて、設計書の郵送を希望される方もいました。

2/16(日)

### 共済部 推進課 子育てにはお金がかかる！ ママ・パパへ準備の勧め

共済部推進課では、JA共済連北海道札幌支所と連携し、札幌エルプラザ内の札幌市男女共同参画センターで開催された「ワーキングママ・パパの体験教室」に、「子育てに関するお金のお話」担当として参加しました。

この企画は、第一子を迎える共働きのご夫婦を対象に、「すぐに役立つ育児体験」として公共財団法人・母子衛生研究会が主催。1グループ8〜11組のご夫婦×4グループが4つの部屋を順に巡り、おむつ替えや調乳などを学びました。JA共済ではその1室を受け持ち、医療費や教育費等、子どもにかかる費用や手当の有無などを説明。子育てには想像以上にお金がかかること、それに対してどのように備えるのかを早めに検討し、備えることの大切さをお話しました。

# 理事会だより

## 第10回定例理事会

令和7年1月30日(木)午後1時00分より、本店・統括支店の各会議室において、Web会議による定例理事会が開催された。

### ● 監事会報告事項

1、会計監査人(みのり監査法人)の再任について

2、令和7年度 監事監査計画について

### ● 協議事項

1、『給与規程』の一部改正について

通勤手当の公平性を保つことを主旨とし、通勤手段ごとに支給金額を算出する方法に改めるための所要の整備である旨が説明され、協議後、可決決定。

2、『信用事業実施方法書(金融機関等の業務の代理又は媒介)』の一部変更について

クレジット発行業務(キャッシング機能付加)を金融機関等の媒介業務に追加する農協告示の改正に伴う整備である旨が説明され、可決決定。

3、大口融資の取り扱いについて

清田支店扱いの大口融資1件について、申

込事項・取り組み経過・資金計画・財務状況・保全状況・弁済見込み等が説明され、可決決定。

### ● 報告事項

1、再発防止策における取り組み状況報告

2、内部監査結果報告

(令和6年度第3四半期)

3、役員報酬審議会からの答申内容報告

4、「合併後の組織統合(PMI)取り組み総括報告」

5、令和8年度 職員採用要領について

6、反社会的勢力排除対応管理先状況報告

7、令和6年度 第3四半期余剰金運用実績報告

8、総合的なリスク量の報告について

9、「有価証券に係るリスクの量的管理」の報告について

10、12月末財務状況報告

11、12月末組合員加入・脱退状況報告

12、1月の動静と2月の予定について

13、地区別懇談会における主な意見・要望の広報誌掲載について

14、札幌協同振興(株)の令和6年度 第3四半期実績報告

(閉会・午後3時38分)

令和7年1月末業務実績

令和6年12月末業務実績

JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,752名	3,762名
		准組合員	34,014名	34,095名
	合計	37,766名	37,857名	
	出資金残高	75億3千3百万円	75億2千8百万円	
	販売取扱高	41億4千2百万円	40億3千6百万円	
	購買供給高	25億8千5百万円	23億6千1百万円	
	貯金残高	3,714億5百万円	3,732億3千1百万円	
	融資産残高	1,084億2千6百万円	1,082億6千7百万円	
	共済保有高	6,311億3千6百万円	6,311億7千万円	
	施設建設取扱高	6千5百万円	6千5百万円	
	管理受託戸数	4,726戸	4,725戸	

## 決算棚卸に伴う臨時休業について

決算棚卸のため、経済店・直売所・給油所は下記のとおり臨時休業いたします。  
組合員の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。

令和7年3月31日(月)  
終日 臨時休業

【経済店】 丘珠資材センター／南経済店／手稲経済店  
清田経済店／篠路経済店／石狩経済店

令和7年4月1日(火)  
午前 臨時休業

【給油所】 ホクレン八幡給油所  
ホクレン花畔セルフ給油所

※地物市場『とれのさと』は、決算棚卸および夏期営業準備のため、3/27(木)～4/4(金)まで休業いたします。

## 話題のスポーツ「モルック」HTB杯 JAさっぽろが協賛しています

4月26日(土)、東区つどいむで行なわれる「モルックHTB杯」に、JAさっぽろがPRの一環として協賛しています。当日「TEAM HTB」の皆さんが着用するユニフォームの両袖に、「JAさっぽろ」の名前が掲載されます。

「モルック」はフィンランド発祥のスポーツ。とても簡単なルールで、老若男女問わず気軽に楽しめます。現地ではサウナの合間に、ビールを片手にプレイされているとか。参加申込は3月19日(水)まで受付中。詳細は公式ホームページをご覧ください。



モルック  
HTB杯 2025

## 地物市場『とれのさと』 スプリングセールを開催します

4月5日(土)・6日(日)の2日間、地物市場『とれのさと』でスプリングセールを開催します。

冬期営業明け初のイベント！詳細は決定次第、JAさっぽろホームページおよび『とれのさと』Instagramでお知らせします。

【4/5(土)より夏期営業】

営業時間／午前 9:30～午後 5:00(定休日なく営業)



JAさっぽろ  
ホームページ



とれのさと  
Instagram



お買い得な商品が  
店頭にも多数並びます！

Column  
My best shot



恐らくほほ見ることのできない  
播種作業。並べられた種ポット  
にあたる光の陰影が印象的で、  
思わず撮ってしまいました。

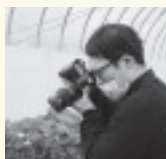


Photo by 曾我 孝博  
2020年からフリーランスのフォトゲ  
ラファーとして主に札幌市内で活動。  
今年度も引き続き「虹の大樹」表紙  
と巻頭写真の撮影を担当します。

### JAさっぽろ公式 LINE お友達募集中!

JAさっぽろ公式 LINE では、  
各種キャンペーンやイベントなど  
のご案内を随時配信しています。  
まだお友達登録されていない  
方は、この機会にぜひご登録く  
ださい。

